

## 第4回県央地域懇談会

# 『さがみ縦貫道路の開通に伴う県央地域の産業活性化』

11月13日、小田急ホテルセンチュリー相模大野にて第4回県央地域懇談会を開催した。『さがみ縦貫道路の開通に伴う県央地域の産業活性化』と題し、100名以上の参加があった。冒頭、小俣会長より、「県央地域はJAXA等の先端産業が集積しており将来性が見込まれているが、さがみ縦貫道路の開通により、幹線道路の渋滞が改善され、産業発展の基礎となる物流の効率化につながるよう期待したい」との挨拶があった。

### 【基調講演】

#### 「さがみ縦貫道路整備の現状と期待される効果」

中日本高速道路(株)東京支社長 奥脇 郁夫氏  
諸外国(フランス、中国、韓国等)では環状道路が完成しているところが多い。東京首都圏では圏央道を建設中で、その一部であるさがみ縦貫道路は平成25年度中に東名・中央道・関越道に繋がり、翌26年には全線が開通することを目標に建設を進めている。



環状道路は、渋滞緩和のみならず、周辺地域の観光エリアへのアクセス向上、災害時の道路ネットワーク、物流の効率化によるビジネスエリアの拡大など、様々な効果が期待できる。

#### 「さがみ縦貫道路の整備が神奈川県央地域にもたらす経済効果」

(株)浜銀総合研究所理事 八木 正幸氏



1980年代の日米貿易摩擦、1990年代の円高・アジアの台頭に続き、現在は、急激な円高や中国を中心としたアジア諸国への産業拠点化が進んでおり、3度目の産業空洞化に陥っていると言える。

一般に、企業立地の条件の一つに、自社の他事業所や市場、関連企業への「近接性」がある。さがみ縦貫道路の開通により、県央地域でこの条件が満たされ、ヒトや情報の交流による付加価値の向上が進み、産業の誘致が進むことを期待する。

### 【パネルディスカッション】

司 会：八木正幸氏

パネリスト：奥脇郁夫氏

桐谷次郎氏(神奈川県商工労働局長)

岡田幸勝氏(株光学技研 代表取締役)

小山彰氏(株バンテック 代表取締役)



桐谷氏



岡田氏



小山氏

パネルディスカッションでは、奥脇氏に加え、県や地元企業の方々にご登壇戴き、八木氏の司会進行のもと、それぞれの立場からご意見を戴いた。

**桐谷氏** これまで弱いとされてきた県内の南北方向の交通網が、さがみ縦貫道路の開通でより強化され、産業立地の誘致や観光などを促進し、地域の活性化に最大限活かされるような施策を県として取り組んでいる。

**岡田氏** 製品を開発するにあたっては、相模原や熊谷、栃木などにお客様が多く、またお客様と顔を直に合わせて打合せをする機会が多いので、さがみ縦貫道路が開通すると、非常に効率よく仕事を進めることができるようになると思う。

**小山氏** 荷物を届ける際の到着時間の誤差許容幅が、お客様の業界によってはかなり厳しいところがあり、時間を読むのに非常に難儀している。さがみ縦貫道路が使えるようになると、到達時間の予測がしやすくなると期待している。

最後に地域活性化委員会の小沢委員長より閉会の挨拶があり、シンポジウムは滞りなく終了した。

また、シンポジウム後に開催された交流パーティーでは、多数の方が参加され、ネットワーク構築や情報交換が行われた。

(文責 事務局)